

# 農業委員会だより

## 鬼っジョブく北上おしごとパークく2018に参加しました

農業委員会は9月16日、さくらホールで開催された「鬼っジョブく北上おしごとパークく2018」に参加しました。

同イベントは、働くことの楽しさや厳しさを通じて、子どもたちが将来を考えるきっかけにしてほしいと始められたもので、今年で開催6年目。北上市、西和賀町の小学4〜6年生約450人が35種以上の職業を体験できる大人気のイベントです。農業委員会は、産直体験ができる「鬼っズマルシェ」と、大型の農機具を展示しました。

「鬼っズマルシェ」は、北上産の野菜、果物、花などを袋に詰めたり、陳列や販売の体験をしたりするもの。子どもたちはカラーペンでポップを描いて商品を飾ったり元気な声で販



元気に野菜を販売！

売の呼び込みをしたりと、女性農業委員に仕事を教えてもらいなから楽しそうに働いていました。産直体験をした小学5年生の佐々木歩花ちゃんは「野菜を袋詰めしたり販売したりするのが楽しかった」と笑顔で話していました。

同イベントでは仕事を体験すると給料として疑似通貨「O.N.Y」が支払われ、それを使って子どもたちは買い物ができます。「鬼っズマルシェ」はO.N.Yを持った子どもたちで賑わい、終了前にすべて売り切れる繁盛ぶり。翌日が敬老の日だったこともあり、おばあちゃんへのプレゼントを購入した子どももいました。

農機具展示コーナーでは親子連れが、コンバインやトラクターに乗って写真を撮ったり農業委員からの説明に熱心に聞き入っていました。「鬼っジョブ」を通して、農業委員会では今後も子どもたちに職業としての農業の大切さ、楽しさを伝えていきます。

(農業委員 遠藤 修子)



コンバインに乗ってみたよ！

## リンゴ収穫体験

食と農の大切さを子どもたちに伝え、農村文化を守るため、農業委員会では食育・食農体験活動を行っています。本年度は5月に摘花体験とリンゴに絵を入れるためのシールの型を作る作業、10月21日には口内町の大小池果樹園での収穫体験を行い、小学生・未就学児11人と父母10人が参加しました。

作業前に、同園の昆野広子農業委員から「商品価値が下がるのでリンゴの軸を抜かないこと」など、収穫についての説明を受けました。5月に子どもたちがデザインしたシールは、収穫の2週間前に女性農業委員が赤くなる前のリンゴに貼りました。子どもたちは自分で描いた絵の模様の入ったリンゴを、一つ一つ丁寧に収穫していました。また、リンゴに光をよく当てて赤く色を付けるため



絵入りリンゴを収穫しました

の葉っぱの摘み取り作業も体験しました。

作業後は、北上市憩いの森に移動してバーベキューや、リンゴの試食をする交流会に参加。みんなで食べるバーベキューは格別で、子どもたちは、たくさんおかわりをして食べていました。その後、リンゴの仲間はどこかなどのクイズで盛り上がりました。子どもたちからは「リンゴについて勉強になった」「楽しかった。来年も参加したい」などの感想がありました。同イベントで食と農の大切さを伝えることができたのではないかと思います。

(農業委員 高橋 多二)

## 31年度北上市農林業施策に関する意見書提出

農業委員会は10月4日、31年度農林業施策に関する意見書を市長に提出しました。この意見書は、農業委員、農地利用最適化推進委員が日常の活動の中で把握した、地域農業者の声をとりまとめたものです。来年度の農林業施策に反映させるため、9月に開催された農業委員会総会で決定しました。

- ◆意見書の内容は次のとおりです。
- ◆担い手の育成・支援体制
- ◆産業連携の強化
- ◆地域と農業の維持対策ーなど

きたかみ農家  
紹介します



「トマトの品質を  
もっと高めたい」



石川 あきら 玲さん  
(51歳・村崎野)

31歳の時に埼玉県から北上市に移住した石川さん。地質調査の仕事で全国各地を回っていた時に岩手県を気に入り、以前から農業に興味を持っていたこともあり、東京で開催された就農フェアの岩手ブースで利便性の良い北上市への移住を決意しました。

当時の北上市農協の研修制度を利用して、一期生として3年間の研修を経て独立。現在、村崎野に55㍎の土地を借り3・3㍎のビニールハウスを5棟建て、主にトマトを栽培しています。「りんか」という品種に絞り毎年11月中旬まで収穫するそうです。

「トマトは、人によって栽培方法が全然違う。他の人のいいところ

をまねしながら、品質と収穫量をもっと高めたい」と話す石川さん。現在は、12世帯からなる二子トマト組合の組合長に就任し、リーダーとして活躍しています。また、ハウスを無駄なく活用するためにトマトの後作として無加温でも栽培できる小松菜・ホウレンソウ・ちぢみ菜などの野菜類、パンジーなどの花苗と多品目を産直あぜみちに出荷しています。一人で作業をこなしている石川さんは、適正な規模で高品質の野菜を生産することに努めています。ハウスや畑に育つ作物からもその様子がうかがえました。

地主さんやお世話になった農協・地域の仲間に感謝を忘れない石川さん。現在に至るまでさまざまな苦労があったと思いますが、奥さんと3人の子どもに恵まれ、地域の人望も厚く、ますますの活躍に期待が高まっています。

（農業委員 伊藤 淳）



トマトを確認する石川さん

## 若手農業者のための魅力アップセミナー開催

若手農業者のための魅力アップセミナーは11月1日、市民交流プラザで、資生堂ジャパン(株)から2人の講師を招き開催されました。

同セミナーは、これからの地域農業を支えていく若手農業者が元気に自信をもつて農業活動をしていくことを願い、女性農業委員6人が中心となり、初めて企画したもので、市内の若手農業男子10人が参加し、「好印象を与える身だしなみ術」と「コミュニケーション能力向上術」を学びました。

「好印象を与える身だしなみ術」は、見た目や第一印象が大事とのことから、男性の肌についての話や、素肌の汚れ落とし、蒸しタオルでのパツ

ク、ヘアケアの仕方、ヘッドマックスージなど、実際に化粧品を使って実習を行いました。

「コミュニケーション能力向上術」は、話すことよりも聴くことが大事との話があり、相づちやうなずき方など、相手が話しやすくなる効果的な聴き方を教えてもらいました。その後は二人一組になり、実際に対話をしながら聴き上手になるための練習をしました。

始めは固い表情だった参加者も講習が進むにつれ笑い声が出るようになり、最後は和気あいあいと、とても楽しい雰囲気となりました。

参加者は「このような体験はなかなかできないので良かった」「楽しかった」と話すなど、参加者の魅力アップにつながったのではないかと感じました。

（農業委員 昆野 広子）

## 審議データ

### 農地の権利移転・利用権設定等審議内容

農地法	上段：審議件数 下段：面積(m <sup>2</sup> )		
	9月	10月	11月
3条	5 15,143	3 78,446	2 17,957
4条	0 0	3 3,127	1 708
5条	8 11,035	38 15,725	15 17,325
適用外証明	2 937	0 0	4 5,275
農用地利用集積計画	48 284,713	6 84,981	32 207,935

- ◎農地法3条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合
- ◎農地法4条…自己所有農地を転用する場合
- ◎農地法5条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転して転用する場合
- ◎農地法適用外証明…農地を20年以上他の目的に使用しており農地の復元が不可能な場合
- ◎農用地利用集積計画…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合で受け手側が大規模農家の場合